

令和 4 年度

大分市森林環境譲与税取組実績報告書

大分市 農林水産部 林業水産課

大分市森林環境譲与税取組実績報告書

<目次>

第1章 はじめに

I 森林環境譲与税の譲与額・執行額・積立額の状況	1
II 森林環境譲与税の使途区分	2
令和4年度森林環境譲与税活用事業一覧	4

第2章 森林整備

I 未整備私有人工林の現況調査・測量	5
II 私有人工林における間伐や除伐等の森林整備	7
III 未整備私有人工林の発生防止を目的とした下刈り等の森林保育に対する支援	10
IV 森林整備に必要な基盤施設である管理道の整備	12
V 移動式竹粉碎機の導入	13

第3章 人材の育成・担い手の確保

I 林業アカデミー研修生や新規就業者を雇用する事業体等に対する支援	14
-----------------------------------	----

第4章 木材利用の促進

I 公共施設における木製備品の導入	16
-------------------	----

第5章 普及啓発

I 木育をテーマとした市民参加イベントの開催	18
------------------------	----

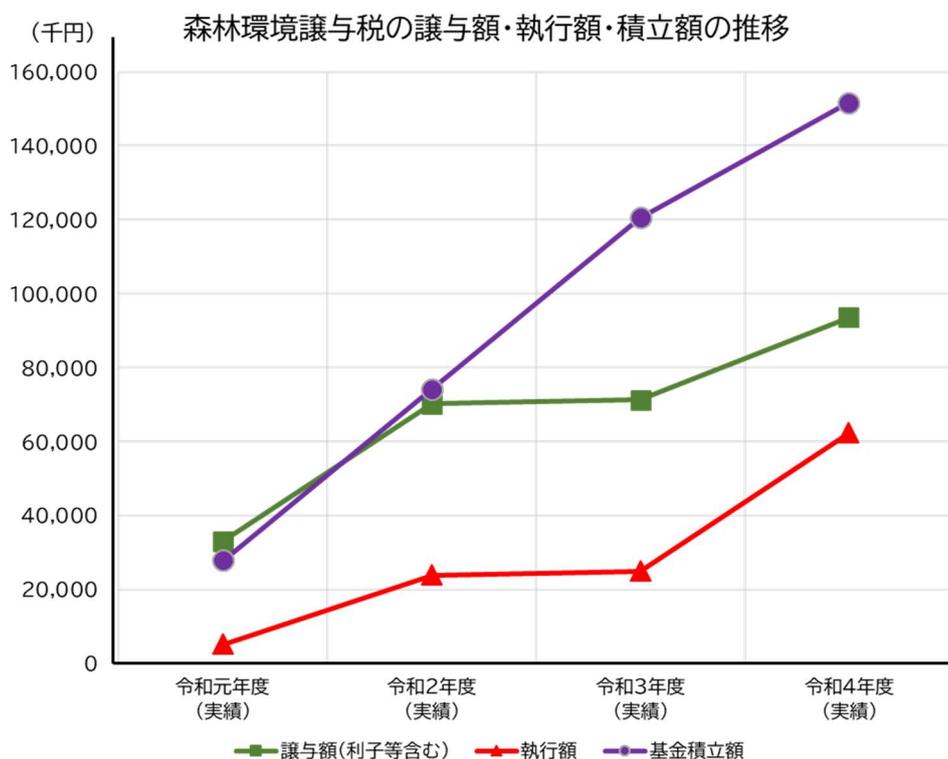
第6章 市の実行体制整備

I 譲与税事業に従事する会計年度任用職員の雇用	21
II その他第2章から第5章の取り組みを実施するのに必要な経費	22

第1章 はじめに

I 森林環境譲与税の譲与額・執行額・積立額の状況

本市における譲与税の譲与額は、令和元年度から令和4年度にかけて増え続け、令和4年度には国から約93,591千円が譲与されています。執行額については、令和4年度には約62,356千円執行しており、様々な事業において譲与税を活用しております。基金積立額は、約151,733千円となっており、今後も引き続き譲与税を活用した取り組みを行っていく必要があります。

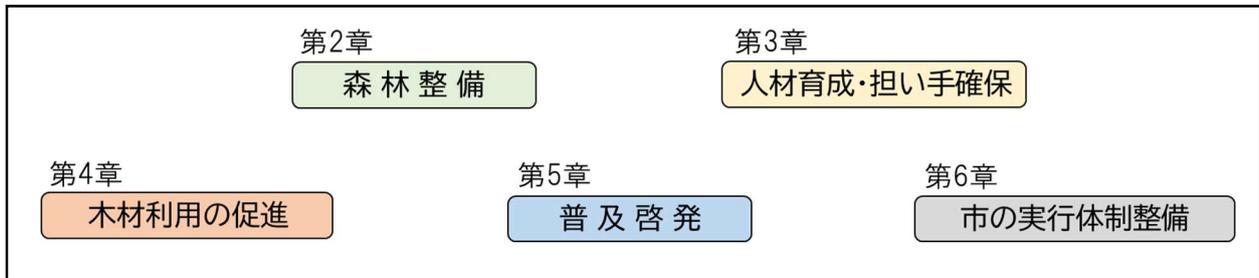


(円)

	令和元年度 (実績)	令和2年度 (実績)	令和3年度 (実績)	令和4年度 (実績)
譲与額(利子等含む)	33,012,570	70,155,653	71,266,473	93,590,944
執行額	5,148,540	23,875,585	24,912,139	62,356,037
基金積立額	27,864,030	74,144,098	120,498,432	151,733,339

Ⅱ 森林環境譲与税の使途区分

本市における譲与税の使途については、法第34条第1項の範囲内で、「大分県森林環境譲与税ガイドライン」に即して、森林の公益的機能の維持増進等を図るにあたって有効的な事業や施策に対し充当しています。また、使途については、事業や施策の目的を分かりやすくするために、以下の区分に整理しています。



第2章

森林整備

既存事業では森林整備が進まず、手入れ不足となっているまたは手入れ不足となる恐れのある森林や公益的機能の観点から早急に行うべき森林の適切な整備に向けた事業等。

第3章

人材育成・担い手確保

未整備森林の解消を円滑に推進するため、主として森林整備に必要となる林業就業者及び事業体の経営基盤の強化、労働環境の改善、技能向上や労働安全性向上に向けた事業等。

第4章

木材利用の促進

二酸化炭素の吸収源である森林の整備の促進及びカーボンニュートラルの観点から市民に対し木の良さを周知し、木材利用を促進することを目的とした公共性の高い施設への木造化・木質化、木製備品の導入及びその他公益性・公平性の高い木材利用に関する取り組み等。

第5章

普及啓発

森林の有する公益的機能及び森林整備・木材利用の重要性について市民への理解醸成・意識向上を目的とした普及啓発活動等。

第6章

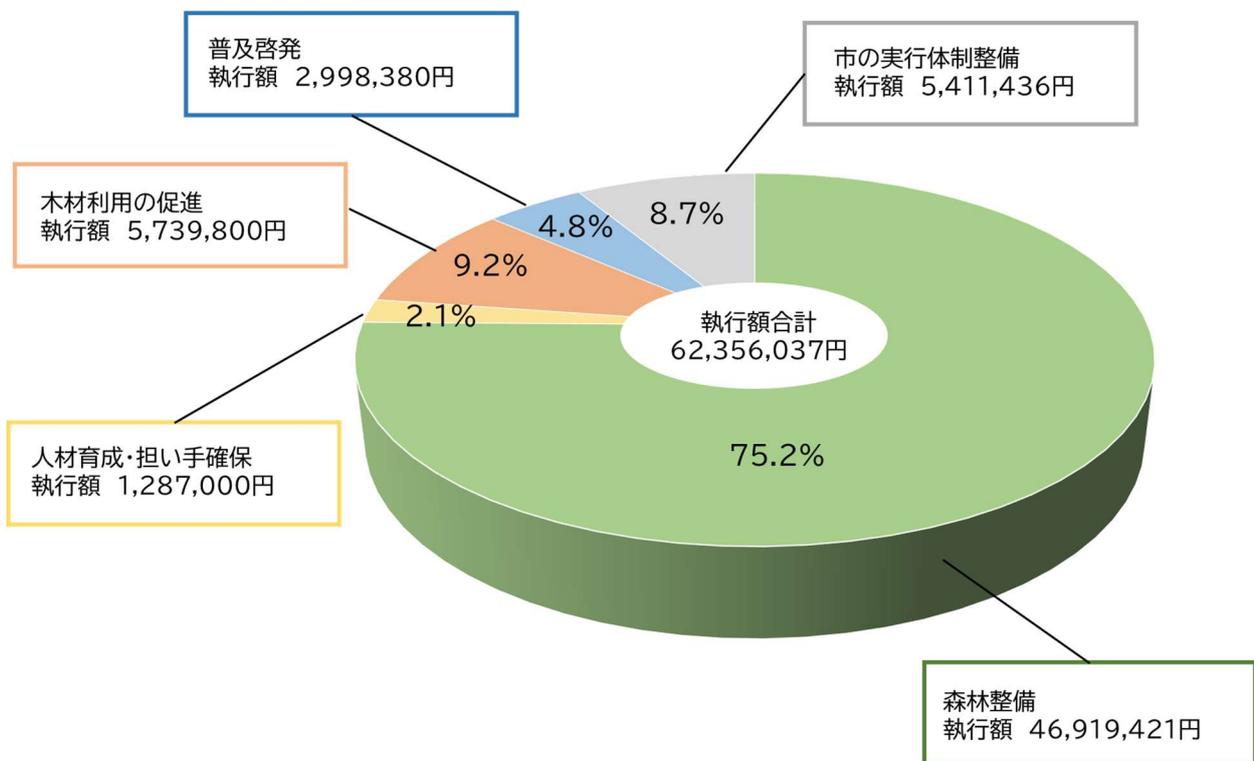
市の実行体制整備

上記の取り組みを円滑に実施するために必要となる経費等。

令和4年度の譲与税の執行額は、62,356千円であり、区分ごとの執行の内訳は以下の通りです。
 「森林整備」に関する事業において46,920千円執行しており、「人材育成・担い手確保」に関する事業では1,287千円、「木材利用の促進」では5,740千円、「普及啓発」では2,998千円、「市の実行体制整備」では5,411千円を執行しています。

第2章から第6章にかけて、区分ごとに、令和4年度に本市が実施した事業や取り組みについて具体的に記載しています。

森林環境譲与税執行額の区分ごとの内訳



令和4年度森林環境譲与税活用事業一覧

章	区分	使途	事業費(円)	事業名・委託名	節	頁
第2章	森林整備 (p5~13)	I.未整備私有人工林の現況調査・測量	26,793,203	【委託】森林現況調査業務委託	委託料	p5
		II.私有人工林における間伐や除伐等の森林整備	9,405,000	【委託】森林整備業務委託	委託料	p7
		III.未整備私有人工林の発生防止を目的とした下刈り等の森林保育に対する支援	8,968,170	【補助金】森林保育促進事業	補助金	p10
		IV.森林整備に必要な基盤施設である管理道の整備	550,000	【委託】支障木伐採・崩土業務委託	委託料	p12
		VI.移動式竹粉砕機の導入	1,203,048	【備品購入費】小型粉砕機1台	備品購入費	p13
		第3章	人材の育成・ 担い手確保 (p14~15)	I.林業アカデミー研修生や新規就業者を雇用する事業者等に対する支援	1,287,000	【補助金】林業作業士確保育成支援事業
第4章	木材利用の促進 (p16~17)	II.公共施設における木製備品の導入	5,739,800	【委託】木製品製作業務委託など	委託料	p16
第5章	普及啓発 (p18~20)	I.木育をテーマとした市民参加イベントの開催	2,998,380	【委託】第2回大分市木育フェス実施業務委託	委託料	p18
第6章	市の 実行体制整備 (p21~22)	I.譲与税事業に従事する会計年度任用職員の雇用	4,916,478	【報酬・期末手当・勤 勉手当・共済費】	報酬・期末手当・勤 勉手当・共済費	p21
		II.その他第2章から第5章の取り組みを実施するのに必要な経費	494,958	【旅費・消耗品費・印刷製本費・通信運搬費】	旅費・消耗品費・印刷製本費・ 通信運搬費	p22
合 計			62,356,037			

第2章 森林整備

I 未整備私有人工林の現況調査・測量

譲与税充当額 26,793,203 円

【目的】

個人が所有する手入れがされていない森林において、森林所有者と立ち会い、森林の現況の調査及び測量を実施し、次年度以降の森林の整備の方向性を決めることを目的とする。

【取組実績】

令和2年度に森林所有者に対して実施した意向調査の結果から「市に管理を任せたい」かつ「境界が分かり、案内ができる」と回答した方を対象に森林所有者と立ち会い、現地調査を行い、必要な整備の検討及び測量を実施した。

- ①令和4年度大分地区森林現況調査業務委託 委託費：6,566,979 円
業務内容：森林所有者との立ち会い・測量・プロット調査・図面作成・整備内容の提案
対象者：15名 調査面積：8.05ha 測量延長：5.87km
調査箇所：上判田(0.98ha)・吉野原(0.42ha)・福良(2.58ha)・河原内(1.35ha)・
竹中(0.05ha)・広内(0.44ha)・佐野(1.31ha)・萩尾(0.54ha)・奥(0.38ha)・
- ②令和4年度野津原地区森林現況調査業務委託 委託費：7,570,332 円
業務内容：森林所有者との立ち会い・測量・プロット調査・図面作成・整備内容の提案
対象者：11名 調査面積：8.38ha 測量延長：7.52km
調査箇所：太田(3.95ha)・竹矢(0.53ha)・今市(1.52ha)・高原(0.15ha)・福宗(0.60ha)・
荷尾杵(0.81ha)・辻原(0.82ha)
- ③令和4年度佐賀関地区森林現況調査業務委託 委託費：12,655,892 円
業務内容：森林所有者との立ち会い・測量・プロット調査・図面作成・整備内容の提案
対象者：7名 調査面積：16.52ha 測量延長：14.81km
調査箇所：木佐上(3.80ha)・本神崎(4.20ha)・細(0.97ha)・佐賀関(7.55ha)



森林所有者との立会



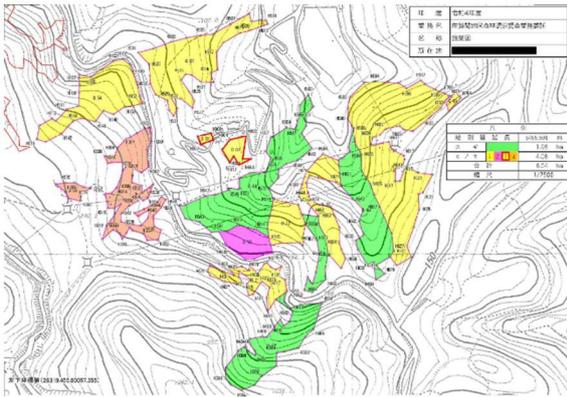
測量



プロット調査

※プロット調査…100㎡内の立木の樹種、本数、胸高直径を調べることにより、森林全体の状況を推測する方法。

成果品の例



施業図
(測量図面)

大分市現況調査リスト

調査年度: 令和 年 月 日 ()

調査員: 大分市 大分市 学

調査対象: 調査対象: 調査対象

調査内容: 調査内容: 調査内容

調査結果: 調査結果: 調査結果

大分市現況調査リスト (続き)

調査結果: 調査結果: 調査結果

調査結果: 調査結果: 調査結果

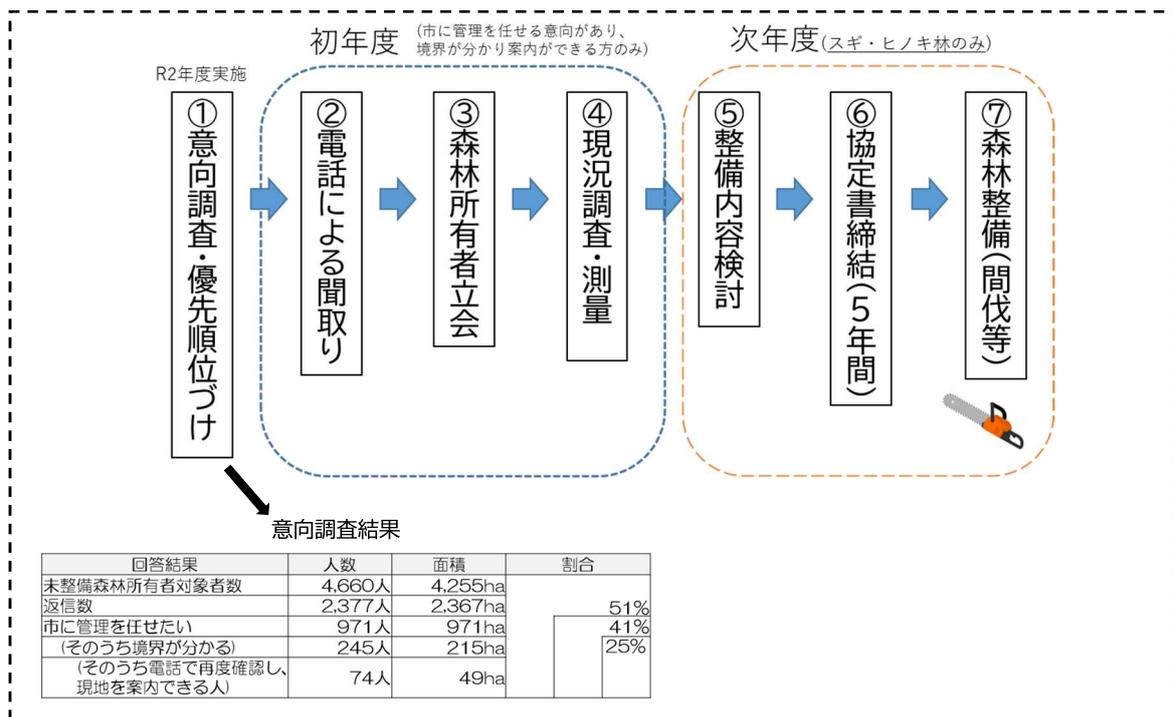
調査結果: 調査結果: 調査結果

現況調査リスト
(調査した森林の状況等をまとめたリスト)

【成果指標】

調査面積：32.95ha（33名）

整備までの流れ





整備前



整備後



整備前



整備後



整備前



整備後



整備前



整備後



整備前



整備後



整備前



整備後



整備前

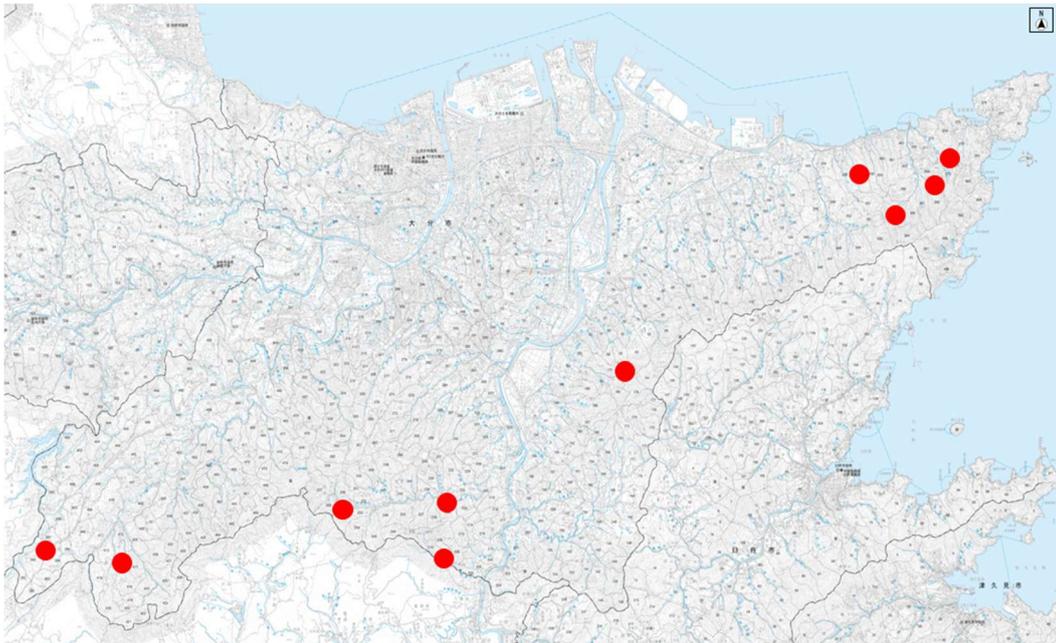


整備後

【成果指標】

森林整備面積：19.33ha 協定締結者数：11名

整備箇所位置図



Ⅲ 未整備私有人工林の発生防止を目的とした下刈り等の森林保育に対する支援

譲与税充当額 8,968,170 円

【目的】

森林経営計画を作成している森林において、再造林後に必要な保育にかかる経費を助成することにより、森林の適正な保育管理を促進し、未整備私有人工林の発生防止を図ることを目的とする。

【事業概要】

森林経営計画を作成している森林において、森林所有者や森林組合等が大分県造林事業に基づいて行う下刈り・除伐・保育間伐・鳥獣害防止施設に係る経費に対して支援する。(補助事業名：森林保育促進事業)

下刈り・除伐・保育間伐・鳥獣害防止施設設置：補助率 27%

※ただし、国・県・市の補助率を合わせた補助率が 100%を超えない範囲内で支援します。

【取組実績】

申請者：4 事業者(おおいた森林組合・(株)伊万里木材市場・(株)ジオグリーン・(株)南栄)

①おおいた森林組合

下刈面積：88.16ha 鳥獣害防止施設設置延長：5,991m 保育間伐面積：0.24ha

総事業費(標準経費)：27,975,000 円 うち市補助額：7,551,750 円

施業場所：今市・高原・吉野原・中戸次・入蔵・荷尾杵・上判田

②(株)伊万里木材市場

下刈面積：8.33ha 鳥獣害防止施設設置延長：492m

総事業費(標準経費)：2,503,000 円 うち市補助額：675,810 円

施業場所：上判田・今市・中戸次・太田

③(株)ジオグリーン

下刈面積：2.75ha 鳥獣害防止施設設置延長：1,100m

総事業費(標準経費)：1,907,000 円 うち市補助額：514,890 円

施業箇所：上詰

④(株)南栄

下刈面積：4.00ha

総事業費(標準経費)：836,000 円 うち市補助額：225,720 円

施業箇所：市尾

【成果指標】

下刈面積：103.24ha 鳥獣害防止施設設置延長：7,583m 保育間伐面積：0.24ha



下刈り(着工前)



下刈り(完成)



鹿ネット設置



鹿ネット設置



保育間伐(着工前)



保育間伐(完成)

IV 森林整備に必要な基盤施設である管理道の整備

譲与税充当額 550,000円

【目的】

森林整備を行ううえで、通行の支障となる倒木や崩土等の撤去等の整備を実施することにより森林を管理するためのアクセス道としての機能を発揮させることを目的とする。

【取組実績】

森林整備に必要な基盤施設である管理道において以下の整備を行った。

①支障木伐採・崩土撤去業務委託(道沿いの支障木の伐採や崩土の撤去)

委託費：550,000円 整備延長：930m



整備前



整備後



整備前



整備後

【成果指標】

整備延長：930m

VI 移動式竹粉碎機の導入

譲与税充当額 1,203,048 円

【目的】

森林に侵入した竹や景観を損ねている竹林の整備に取り組む団体等に対し、竹粉碎機を導入し、貸し出すことで、作業の省力化を図り、市内における竹林整備を促進することを目的とする。

【取組概要】

竹粉碎機を導入し、竹林の整備に取り組む団体等に対し、竹粉碎機の貸し出しを行う。

機種：小型粉碎機 KCM116BL

※貸出は無料ですが、燃料(レギュラーガソリン)は自己負担となります。

※貸出日数は最大で 15 日間です。

※個人に対する貸出や営利目的での貸出は行っていません。

※本市以外での利用はできません。

【取組実績】

貸出団体：NPO 法人碧い海の会

稼働日数：5 日(稼働時間 21 時間) 整備面積：0.25ha (※申出による)

※粉碎機は、令和 5 年 2 月末に納入されたため、貸出団体は 1 団体。



小型粉碎機 1 (KCM116BL)



作業状況



作業状況



整備前



整備後

【成果指標】

貸出件数：1 件 整備面積：0.25ha

第3章 人材の育成・担い手の確保

I 林業アカデミー研修生や新規就業者を雇用する事業体等に対する支援

譲与税充当額 1,287,000 円

【目的】

人材の育成・担い手対策として、林業分野への就業希望者や新規就業者を雇用し育成に取り組む認定林業事業体等に対し支援することにより、森林整備の担い手となる林業従事者の確保及び定着を目的とする。

【事業概要】

林業分野への就業希望者や新規就業者を雇用し育成に取り組む認定林業事業体、林業にキャリアアップ向上を目指す方に対し、以下の支援を行う。(補助事業名：林業作業士確保育成支援事業)

(a) 林業アカデミー研修生(市内在住)に対して、研修支援費の補助を行う。

補助額：受講日数×1,000 円/日

補助対象者：林業アカデミー研修生

(b) 国の「緑の雇用事業」の林業作業士研修期間（2 年目又は 3 年目）のうち、国から助成金の給付を受ける期間を除いた期間において、事業者が研修生に支給する賃金に相当する額の支援を行う。

補助額：研修生 1 人につき 90,000 円/月(上限 4 ヶ月)

補助対象者：大分県認定林業事業体(大分市内に所在地を有する事業体)

大分市を管轄する森林組合

※林業作業士(2 年目または 3 年目)を雇用している事業者のみ

(c) 国の「緑の雇用事業」の林業作業士研修期間（2 年目又は 3 年目）において、事業者が研修生に支給する住宅手当に相当する額の支援を行う。

補助額：研修生 1 人につき上限 30,000 円/月

補助対象者：大分県認定林業事業体(大分市内に所在地を有する事業体)

大分市を管轄する森林組合

※林業作業士(2 年目または 3 年目)を雇用している事業者のみ

※家賃が 30,000 円を下回る場合は、実質の家賃が補助額になります。

【取組実績】

①おおいた林業アカデミー生 A

活用した補助メニュー：(a) 対象者：1 名

補助金額：207,000 円（1,000 円/日×研修参加日数 207 日）

②大成木材(株)

活用した補助メニュー：(b) 対象者：1 名

補助金額：360,000 円（90,000 円×4 ヶ月）※令和 4 年 4,5 月、令和 5 年 2,3 月分

③おおいた森林組合

活用した補助メニュー：(b) 対象者：1 名

補助金額：360,000 円（90,000 円×4 ヶ月）※令和 4 年 4,5 月、令和 5 年 2,3 月分

④(同)中野木材

活用した補助メニュー：(b) 対象者：1 名

補助金額：360,000 円（90,000 円×4 ヶ月）※令和 4 年 4,5 月、令和 5 年 2,3 月分

【成果指標】

補助実績：アカデミー生 1 名、認定林業事業体の従業員 3 名

第4章 木材利用の促進

I 公共施設における木製備品の導入

譲与税充当額 5,739,800 円

【目的】

市の保有する公共施設において木製備品を導入することで、施設を利用する市民に対し、木に触れて木の良さを知ってもらい、木材利用の普及及び促進を図ることを目的とする。

【取組概要】

公共施設のうち、PR効果の高い不特定多数の市民に利用される施設において、大分市産材を用いた木製備品を導入する。

木製備品の対象：市民が利用する椅子・机・木製遊具など

大分市産材の定義：大分市内の森林から産出された原木を加工した木材

【取組実績】

①大分市木製品製作(複合大型木製遊具)業務委託

設置場所：鶴崎こどもルーム、大在こどもルーム

設置製品：木製すべり台2基(各こどもルームに1基)

材質：スギ 木材利用量：0.92立法メートル(0.6t-CO₂)

委託費：4,796,000 円



木製すべり台(その1)



木製すべり台(その2)

②大分市木製品製作(待合用背付椅子)業務委託

設置場所：鶴崎公民館(4基)・南大分公民館(2基)・大分東部公民館(2基)・大分西部公民館(4基)

設置製品：背付ベンチ12基

材質：スギ 木材利用量：0.5856立法メートル(0.4t-CO₂)

委託費：943,800 円



鶴崎公民館



南大分公民館



大分東部公民館



大分西部公民館

【成果指標】

木材利用量：1.5056 立方メートル 炭素貯蔵量：1.0t-CO₂

第5章 普及啓発

I 木育をテーマとした市民参加イベントの開催

譲与税充当額 2,998,380 円

【目的】

広く市民を対象に、木のおもちゃに触れる体験や木工ワークショップなどを通じて、木材への親しみを深めてもらい、木材の利用普及を図ることを目的とする。

【取組実績】

木材への親しみを深めてもらう「木育」をテーマとしたイベントを実施した。(イベント名：第2回大分市木育フェス)

委託名：「第2回大分市木育フェス」実施業務委託

委託費：2,998,380 円

開催場所：お部屋ラボ 祝祭の広場（大分市府内町 1-1-1）

実施日時：令和4年10月1日(土) 10:00~16:00

参加者数：3,559 人

広報：



チラシ(表)



チラシ(裏)



内容：かまぼこ板積み木広場 キッズエリア



30,000 枚のかまぼこ板で自由に遊べる広場を設置(対象年齢 4 歳以上)。

よちよちエリア



積み木や輪投げ、木に関する絵本や木製の楽器などを設置(対象年齢 0~3歳)。

ワークショップ



木のペンダント作り
色々な種類の木を研磨してキーホルダーを制作。



野の草花体験
雑草やお花を生ける体験ができる。



かんな削り体験
大工さんが先生となり、かんな削りを体験する。



木の鉛筆作り
木に穴を開け、芯を入れ込み鉛筆を作る。



木のパネル展示
12種類の木の説明入りパネルを設置、木のたまごや板と一緒に設置し、実際に触れて違いを体験してもらおう。



木のバードコール作り
木にドリルで穴を開け、スチール製の棒を差し込み回すことで鳥の鳴き声を表現する。



キャンプ体験
キャンプ用品を展示。テントの中に入ってミニキャンプ体験を楽しんでもらおう。



スキ下駄作り
小学生を対象とした下駄作りが体験できる。



かまぼこ板アート
かまぼこ板に自由に絵を描き、色を塗る。



木材利用促進 PR/第 45 回全国育樹祭 PR
木材利用促進 PR のため、県産材ウッドトレイを配布



乾しいたけグラム当てチャレンジ
乾しいたけを計量器に乗せ、100g を目指す。



ロープワーク講習
もやい結びなどキャンプで覚えておくと便利なロープの結び方講習。



モルック体験
モルック体験ができるコーナー



スギの箸作り
スギの棒をヤスリで削って箸を制作。

記念品（天然木の白樺を使用したカトラリーセット 1,000 人分を来場者記念品として配布）



木育シール

【成果指標】

イベント参加者数：3,559 人

第6章 市の実行体制整備

I 譲与税事業に従事する会計年度任用職員の雇用

譲与税充当額 4,916,478 円

【目的】

譲与税事業に従事する職員を確保することで、市の実行体制の充実及び譲与税の適正な執行を図ることを目的とする。

【取組実績】

譲与税事業に専属で従事する職員を雇用するのに必要な経費について譲与税を充当した。

職員の業務内容：森林現況調査測量業務委託及び森林整備業務委託の進捗管理・現場管理(段階的な選木確認・変更契約や成果品の書類チェック)
森林所有者との調整(協定締結事務・整備後の森林所有者への報告)
説明会の実施

詳細内訳：報酬 3,603,733 円 (2名分)

職員手当等 794,272 円 (2名分)

共済費 457,273 円 (2名分)

費用弁償 61,200 円 (2名分)



地元説明会の実施



業務の進捗管理(受注業者との立会)

II その他第2章から第5章の取り組みを実施するのに必要な経費

譲与税充当額 494,958 円

【目的】

譲与税を活用した取り組みに付随する消耗品、印刷製本費、通信運搬費等の必要な経費に対して充当することにより、譲与税事業の適正な執行を図ることを目的とする。

【取組実績】

第1章から第5章の取り組みを実施するのに必要な次の経費について譲与税を充当した。

①旅費 76,250 円

1/16～1/20 公共建築物等木材利用促進研修(東京都八王子市) 旅費：60,030 円(1名分)

10/1～10/14 市町村林務担当者会議 旅費：16,220 円(1名分)

②消耗品費 37,942 円

区分	物品	金額	用途
森林整備業務	ラッカースプレー	14,454 円	森林整備業務(立会・境界明示・プロット調査)において使用
木育イベント業務	ポップコア/レジ袋/マスク/養生テープ/ラミネートフィルム/OPP袋	23,488 円	木育イベントの設営・運営時に使用。
	計	37,942 円	

③印刷製本費 16,280 円

森林整備業務委託に関する図面印刷代(A1×4部、A0×2部)

④通信運搬費 364,486 円

令和4年度大分県森林クラウドシステム利用料 363,000 円

森林に関する情報(森林の施業履歴・林地開発許可・伐採届など)をクラウド上に一元化し、森林管理に活用するためのシステムの利用料



切手代 1,486 円

譲与税を活用した事業に係る申請者や関係団体との郵送用の切手代。

(20 円切手×2 枚、50 円切手×3 枚、84 円切手×3 枚、94 円切手×1 枚、100 円切手×6 枚、140 円切手×1 枚、210 円切手×1 枚)